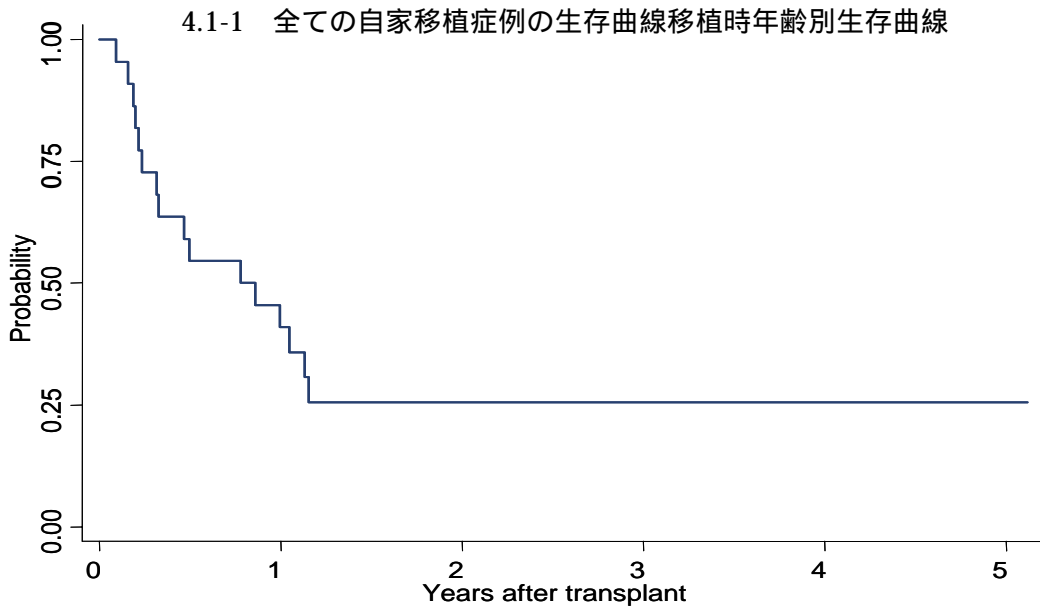
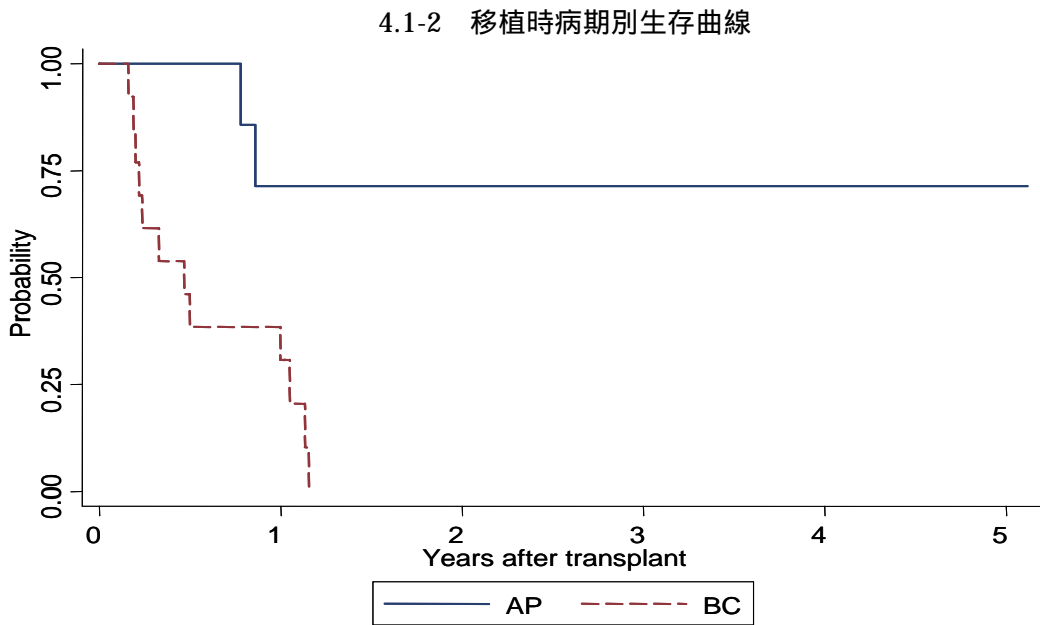


図4 1991年から2002年までに第1回目の造血幹細胞移植を受けたCML症例での生存曲線

図4.1 自家移植症例での生存曲線



対象症例	症例数	移植後経過年数	1年	3年	5年	10年
all Patients	25	生存率	0.4091	0.2557	0.2557	.
		95%信頼区間	0.2085-0.6007	0.0965-0.4513	0.0965-0.4513	.
		観察症例数	10	3	2	1



対象症例	症例数	移植後経過年数	1年	3年	5年	10年	検定
AP (移行期)	8	生存率	0.7143	0.7143	0.7143	.	
		95%信頼区間	0.2582-0.9198	0.2582-0.9198	0.2582-0.9198	.	
		観察症例数	6	3	2	1	
BC (急性転化)	13	生存率	0.3077	.	.	.	
		95%信頼区間	0.0950-0.5543	.	.	.	
		観察症例数	5	1	1	1	
							0.0035